

森里海連環高津川流域ふるさと構想特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年11月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4.3+4.3)/2=4.3$

4.3

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	路網整備と計画的施業の推進	91%	4
2	地域資源を活用した農村定住・交流促進	117%	4
3	高津川流域の水質浄化及び川と海の水産資源の維持・増殖	132%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 1 + 4 \times 2 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 3 = 4.3$

4.3

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
 (例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、
 c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標2は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、
 進捗度と評点が整合しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.3

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(4.3+3.3+4.3)/3=4$

4.0

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.3

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.3

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.3

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.0

・自然資源(清流)を核に据えた地域活性化戦略はインパクトが大きく、成功が期待される。森林管理、水質浄化、漁業資源の増加という3つの連関を強化することができればベストだが、地域活性化に軸足を移すことで近年は実績をあげてきた点は評価することができる。

・「地域限定特例通訳案内士の活動回数」は、大きく目標値を上回っている。インバウンドを含む観光客が順調に増え、地域限定特例通訳案内士の活動が成果を挙げている様子が窺える。今後一層の展開が期待され、目標値の上方修正の検討が必要であろう。

・交流に関する指標が望ましい傾向にあり、それを活かした新規就農者の増加や定住人口の増加が期待される。新規就農人数は目標に達していないが、自営就農を中心に着実に増加していることは高く評価される。

・今後は自然資源を活用した観光振興を考えてもよいかもしれない。

・「森」「里」「川」へのそれぞれの取組は、昨年よりもずっと改善された印象をもつ。今後もバランス良く発展していくことを期待したい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.0

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(4.3+4+4 \times 2) \div 4=4.1$

4.1

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。